



指導主事だより

なんだかうれしい

教育委員会

相談時間等 月・水・金曜日

●立科小学校/午前9時～午前11時30分

電話 0267-56-3131 (呼)

●立科中学校/午後2時～午後5時

電話 0267-56-1076 (呼)

●立科町児童館/

午前 11時50分～午後1時40分

電話 0267-56-0248 (呼)

(担当 指導主事 中島 一彦)

「変わる」ということ

私たちは「変わる」ということがとても苦手。間違いを認めたり、信念を変えたり、前提を疑うことがなかなかできなかったり・・・。

1年生体育のふり返りの時間。自己評価カードのシールを貼る部分に「取り組んだ活動」の出来不出来を巡ってのAさんとB君のやりとり。

「出来たら、シールを貼るんだよ」



分かりやすく、やさしく伝えようとするAさん。

Aさんの投げかけにじっと耳を澄ませるB君。



そしてAさんにおもむろに語りかけるB君。



B君の言葉にじっと耳を傾けたAさん。

「ちがうんだよ。
シールはボクが出来なかったこと、
がんばろうとすることなんだよ」
と伝えたB君。

AさんもB君も他者の意見に耳を傾けながら、相手の考えを懸命に理解しようとしていました。

対話とは言葉を交わすこと、考えを交わすこと。

同時にAさんとB君の相手の考えにじっと耳を傾ける姿の中に、相手の考えに近づこうとしながら、大きな視点から自分を見つめようとしている気持ちも伝わってきます。

「できたことにシールを貼る」と考えるAさん。

「これから頑張ろうとする内容」に向かおうとするB君。

「私の「出来たこと」の向こう側にあることをB君は言っているのかもしれない・・・」

そんなAさんの沈黙。

自分の今を「もう一人の自分が大きな視点から見つめている」・・・そんなことを思われるのです。

Aさんも変わり、B君も変わり、そして、それに立ち会えた私自身も変わる・・・。

なんだかうれしいのです。